

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や放流水等に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーン センター	放流水	H27.12.1	検出せず	検出せず	検出せず
	し渣	H27.11.26	検出せず	検出せず	検出せず
	炭化物(乾燥汚泥)		23	116	139
	飛灰		47	232	279
	脱水汚泥		検出せず	検出せず	検出せず
	使用済み脱臭用活性炭	H28.3.12	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成28年4月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:株堀場製作所 PA-1000

	4月8日	4月14日	4月21日	4月28日
測定結果	0.047 ~ 0.070	0.053 ~ 0.066	0.046 ~ 0.064	0.052 ~ 0.072

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や放流水等に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーン センター	放流水	H27.12.1	検出せず	検出せず	検出せず
	し渣	H27.11.26	検出せず	検出せず	検出せず
	炭化物(乾燥汚泥)		23	116	139
	飛灰		47	232	279
	脱水汚泥		検出せず	検出せず	検出せず
	使用済み脱臭用活性炭	H28.3.12	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成28年5月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:株堀場製作所 PA-1000

	5月6日	5月12日	5月19日	5月26日
測定結果	0.051 ~ 0.062	0.047 ~ 0.066	0.053 ~ 0.063	0.050 ~ 0.062

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や放流水等に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーン センター	放流水	H27.12.1	検出せず	検出せず	検出せず
	し渣	H27.11.26	検出せず	検出せず	検出せず
	炭化物(乾燥汚泥)		23	116	139
	飛灰		47	232	279
	脱水汚泥		検出せず	検出せず	検出せず
	使用済み脱臭用活性炭	H28.3.12	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成28年6月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:株堀場製作所 PA-1000

	6月2日	6月9日	6月17日	6月24日	6月30日
測定結果	0.050 ~ 0.064	0.045 ~ 0.066	0.047 ~ 0.065	0.053 ~ 0.068	0.044 ~ 0.067

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物(乾燥汚泥)	H28.6.30	17	59	76
	飛灰		27	120	147
	使用済み脱臭用活性炭	H28.7.16	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成28年7月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:株堀場製作所 PA-1000

	7月7日	7月14日	7月21日	7月28日
測定結果	0.053 ~ 0.072	0.048 ~ 0.062	0.047 ~ 0.063	0.051 ~ 0.068

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物(乾燥汚泥)	H28.6.30	17	59	76
	飛灰		27	120	147
	使用済み脱臭用活性炭	H28.7.16	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成28年8月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:株堀場製作所 PA-1000

	8月4日	8月10日	8月24日
測定結果	0.048 ~ 0.069	0.044 ~ 0.070	0.047 ~ 0.054

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物(乾燥汚泥)	H28.6.30	17	59	76
	飛灰		27	120	147
	使用済み脱臭用活性炭	H28.7.16	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成28年9月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:株堀場製作所 PA-1000

	9月1日	9月15日	9月29日
測定結果	0.043 ~ 0.058	0.052 ~ 0.062	0.046 ~ 0.062

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物(乾燥汚泥)	H28.6.30	17	59	76
	飛灰		27	120	147
	使用済み脱臭用活性炭	H28.7.16	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成28年10月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:(株)堀場製作所 PA-1000

	10月6日	10月20日
測定結果	0.051 ~ 0.066	0.049 ~ 0.063

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物(乾燥汚泥)	H28.6.30	17	59	76
	飛灰		27	120	147
	使用済み脱臭用活性炭	H28.7.16	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成28年11月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:(株)堀場製作所 PA-1000

	11月2日	11月17日
測定結果	0.052 ~ 0.066	0.045 ~ 0.070

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H28.11.30	18	84	102
	飛灰		31	139	170
	使用済み脱臭用活性炭	H28.11.19	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成28年12月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:株堀場製作所 PA-1000

	12月1日	12月15日	12月28日
測定結果	0.048 ~ 0.068	0.047 ~ 0.059	0.051 ~ 0.062

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H28.11.30	18	84	102
	飛灰		31	139	170
	使用済み脱臭用活性炭	H28.11.19	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成29年1月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:(株)堀場製作所 PA-1000

	1月5日	1月19日
測定結果	0.045 ~ 0.059	0.052 ~ 0.064

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H28.11.30	18	84	102
	飛灰		31	139	170
	使用済み脱臭用活性炭	H28.11.19	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成29年2月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:(株)堀場製作所 PA-1000

	2月2日	2月16日
測定結果	0.046 ~ 0.064	0.051 ~ 0.063

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H28.11.30	18	84	102
	飛灰		31	139	170
	使用済み脱臭用活性炭	H29.3.18	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成29年3月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:(株)堀場製作所 PA-1000

	3月2日	3月16日	3月30日
測定結果	0.046 ~ 0.064	0.051 ~ 0.063	0.049 ~ 0.063

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。